

秋吉台 春の出会いをもとめて、歩け歩け！！

4月に入ったものの春の花のお目当てはなかなか見つかりません。開花が例年よりも2～3週間ほど遅れている花もあるようです。山焼き後、一番に咲き始めるセンボンヤリも少し遅れて咲きはじめました。いつもなら足の踏み場もないくらい咲いている場所も、今年はササの枯葉が積もって、白い小さな花が目立ちません。むやみに歩き回って踏みつけてはかわいそうなので、別の場所へ行きました。他の小さな花も同じでしょう。草原をさーっと見渡して、一目で花を見つけるのは、今のところ難しいかもしれません。そして春の楽しみの一つのワラビも…。
(写真は4月26日の北山の様子です)



季節の花 台麓は隠れた穴場

フデリンドウ 木漏れ日の当たる明るい林内などに生えるリンドウ科の越年草。淡紺色の小さな花でかわいいです。「おや、こんな所に咲いている」と見つけた時は癒されます。

ユキヤブケマン 林内など少し湿気のあるところで見かけるケシ科の越年草。ムラサキケマンの白花種で白い花の先端に淡緑色の部分があります。どことなく清楚な気がします。

キランソウ 日当たりの良い草地や畑の土手などに生えるシソ科の多年草。花は淡紫色で地面を這うようにして広がっています。淡紅色や白色の花もあるそうですが、まだ見たことがありません。いつか出会いたいものです。



化石採集体験

大正洞桜まつりと同時開催

大正洞桜まつりと同時開催で「化石採集体験」を行いました。エコフィールドの桜も満開、天気も良好。化石採集に熱中すると汗がにじむほどの暖かさ。昨年も訪れたという家族を含めて80名を越える参加があり、大にぎわいでした。期待していたアンモナイトの化石は見つかりませんでしたが、フズリナや腕足類の化石を今日の記念に持って帰りました。



ヤマシャクヤクのその後

2株が見事に開花

令和3年にタネを播いて育てて4年8か月。そのうちの2株にそれぞれ1個の蕾が付いて、4月の暖かい朝、ついにヤマシャクヤクの花が咲きました。急に暖かくなったせいか、丸いツボミから一気に開いたようです。感動です。が、2個の花のうち1個は見覚えのある花ですが、もう1個は二重咲きのようになっています。これが継続するかはわかりませんが、今年未開花の株も含めて、来春の開花に期待です。



ウマノスズクサ

ジャコウアゲハを誘いませんか？

黒いアゲハチョウのジャコウアゲハが産卵し、その幼虫が食草とするウマノスズクサ。産卵数にもよりますが、たくさん幼虫が生まれたら葉はもちろん、硬い茎まで食べられてしまうこともあります。花はラッパ状で愛敬があります。大きい株から根茎を切り取って鉢植えにしました。希望の方にお譲りします。12鉢用意しています。



5月の行事

5月 3日(土)
5月17日(土)

観察会「カエルが待っている」
花の観察「初夏の花」

